

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年2月28日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年2月28日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【2号機タービン建屋滞留水水位計用エアホースからの漏えいについて】 2号機タービン建屋滞留水水位計用のエアホースからの漏えいを確認。 指示値には異常なし。 修理を実施。	GⅢ	2月25日
2	【1, 2号機排気筒解体工事の実証試験における斜材切断装置の動作不良について】 発電所構外で実施中の排気筒解体工事の実証試験において、斜材切断装置のクランプの動作不良を確認。 修理を実施。 実証試験工程への影響なし。	GⅢ	2月21日
3	【3号機燃料取扱設備クレーン補巻の水圧ユニットからの漏えいについて】 3号機燃料取扱設備クレーン補巻の水圧ユニット用ホース継手部から漏えいを確認。 継手部の増締めを実施。 工程への影響なし。	GⅢ	2月26日
4	【SPT受入移送ポンプ(A)からの漏えいについて】 SPT受入移送ポンプ(A)の試運転時、ポンプ出口フランジ部から漏えいし、水が外堰に流出。 外堰排水弁は「開」でその後「閉」としたため、外堰外地面のスミヤ測定を実施し汚染がないことを確認。 対策検討中。	GⅢ	2月22日